

先ほど、学位記を授与された皆さん、おめでとうございます。

それぞれの課程を修了し、本日、晴れて卒業されますことを心よりお祝い申し上げます。

河野知事、蓬原県議会議長をはじめ多くのご来賓や保護者の皆様とともに皆さんの門出をお祝いできることを大変嬉しく思います。

学部、大学院、別科助産専攻と、それぞれ教育内容、教育期間、教育環境などの違いはあれ、厳しく、しかし、きっと充実した日々を送られたことと思います。その掛け替えのない時間は、これからの人生において、必ずや活かされるものと思います。

さて、本学が開学 20 周年を迎え、法人化へと大きく舵を切ることとしたのはほんの 2 年前のことではありますが、もうずいぶん前のことのように感じられます。

時の流れは一樣ですが、世の動きはめまぐるしく、社会環境の量的・質的な変化の速度が、その数倍にもなっており、実時間以上の経過を感じてしまうからであろうと考えるところです。そして、これからは、更に激しく大きな変動の中に入っていくことが見込まれています。人口減少や人口構造の変化の加速化がその主な要因です。

一方で、社会経済のたゆまぬ発展を図ることが求められ、そこに大きな軋轢が生じるでしょう。身体も心も、よりストレスフルな環境になっていくことが予想されます。

そのような厳しい社会にあたっては、様々な場面において、きっと皆さんの力が求められることになると思います。本学において看護の専門職者として、豊かな知性、理性、感性を身につけた皆さんならば、その要請、期待に十分応えてくれるものと確信しています。

新しい時代が始まろうとする今、それぞれの新たな道へ踏み出す皆さんに心からエールを送ります。どうぞ思う存分、力を発揮してください。皆さんの活動実績が、本学の活用化への励み、刺激となり、また皆さんへのフィードバックを通して相乗効果をもたらすことを期待しています。

「重ね来し 知と理と情 調いて 翔く丘に 春の風ふく」

皆さんのこれからのご活躍を心より願い、あいさついたします。

平成 31 年 3 月 15 日

公立大学法人宮崎県立看護大学

理事長 稲用 博美